

# 鴨沂高校同窓会 理事会議事報告（要約）

- 開催日時： 平成 24 年 9 月 28 日（金） 18 時 30 分～21 時  
場 所： 鴨沂会館 1 階 101 室  
出席理事： 26 名および岡井 満氏（特別顧問）・山岸 忠氏（鴨沂高校 校長・同窓会顧問）  
議 長： 山崎理事長  
資 料： ①「同窓会ホームページのリンク設定について」  
② 京都新聞記事「学校間で切磋琢磨」  
③ 京都新聞記事「府内公立高校 総合選抜廃止へ」  
④（山岸校長より）「京都新聞社説 『15 の春』泣かさぬには 総合選抜廃止」  
⑤（山岸校長より）「讀賣新聞 記事 『古典の日』祝賀 全国高校伝統文化フェス」

## ●上野民夫会長 挨拶

本日、山岸 忠校長に出席をお願いし、鴨沂高校の全面改築（建替え）の進捗状況や制服導入などの今後の学校方針などについて直接お話を聞く機会を得られたとの挨拶があった。

## ●山岸 忠校長 挨拶および報告

\* 同窓会からの本校生徒への奨学金に心から感謝している。（高校 2 年生 6 名に月 6,000 円）

\* 伝統を受け継いでいる現状報告

文化祭が 64 回を迎え、2 年生は「演コン」3 年生は「あおげば」を継続している。クラブでは、水球・放送・自転車は全国大会で活躍、演劇は府の大会で、茶道部は地域でそれぞれ活躍している。12 月 16 日に「全国高校生伝統文化フェスティバル」（資料⑤）が行われ、その一環として、当日京都コンサートホールで行われるいわゆる「伝統文化の甲子園」に鴨沂高校が能を披露する予定。また、就職先なども先輩の会社に就職決定もあり、感謝している。

\* 高校建替え時の仮移転先の候補地が決定

平成 25 年の夏休みに産業大学付属中学校・高等学校の元校舎への移転があげられている。これは、元成安女子中学校・高等学校の建物で相国寺の北裏側で、鴨沂高校から比較的近くにある。現在の鴨沂高校のこの地での新校舎についてはこれから予算化される予定。

\* 公立高校の入試選抜方法が「総合選抜」から「単独選抜」へ。（資料②、③、④）

2014 年以降の入試から実施。「総合選抜」は、京都市と乙訓地域で実施してきた総定員分の合格者を決めたくて通学校を振り分ける制度。「単独選抜」は、生徒が、学校ごとに出願して可否をきめる制度。受験生が自分で学校を選択したいという希望に沿った見直しによる。

\* 「単独選抜」で選ばれる高校になるにはどうしていくか。

**高校の特色を出す**…京都市の真ん中にあり、御所、鴨川の近くで京大、同志社など大学にも近く文化施設も多いという立地条件が良いことから、京都の伝統文化を学べる学校にしたい。これからは、自己判断力があり生きる力を持つ人間が求められるので、京都を知り、日本を知り、国際人として自立した人間を育てていく方針を考えている。

**学力向上**…授業時間を増やすなど学力向上に努力し、生徒が希望する進路の実現につとめる。

**制服導入**…平成 25 年度の 1 年生から制服導入を決定した。近年、制服のデザイン等で高校を決める中学生も多くいるようである。中学生から選ばれる学校にし、そして、在校生が誇りを持てるようにより良いデザインの制服にしたい。生徒の協力も要請した。

●審議事項

- ・ 図書館の蔵書については、山岸校長から、分類・点検後、学校に残すべきものを選択した後に教育委員会と連携して引き取り先を決めるなどの有効利用を考慮中との説明があった。
- ・ 若い卒期の同窓会への入会勧誘方法について、高校の協力を得て、卒業式以前に「同窓会入会同意書」の提出を依頼する。
- ・ HP に建替えに至る情報や建築中の情報をできるだけ掲載し、関東支部など遠方の同窓会員に状況を理解してもらう。
- ・ 城南高校同窓会からの HP リンクの設定申し出について、話し合いの結果、特に問題もないと考えられるので承認された。
- ・ 鴨沂の歴史的なものを DVD 化するかどうか検討中ではあるが、できる限り写真や資料を集める。過去に出版された「鴨沂新聞」などに掲載されたものも参考にする。高校以前のは、会長が府一関係の京都鴨沂会に協力を要請し承諾を得る。
- ・ 資料調査としては、鴨沂の将来ビジョンとも関連し、何を残すかなどの方針が決まらない限り難しい。
- ・ 現時点で、出席理事がどの委員会を希望するかを聞き、下表のように役割を決めた。特に資料調査委員会の中に、撮影係だけは決めておくことになった。
- ・ 廣瀬監事より、同期の佐々木佳継氏をビジョン委員会にオブザーバーとして参加してもらうことの承認要請があったので、全員一致で承認された。

資料調査委員会	ビジョン委員会	財務委員会
藤野 英雄	仲谷 喬	木村 要
今岡 公榮	黒川 令三	川島 康之
猪熊 兼勝	山岡 亮平	木村 正
西尾 齊	鈴木 正穂	廣瀬ちづる
戸川 隆博		奥田美智子
谷口明日香		横井 猛彦
太田 雅彦		
青木 栄子		
安田 行秀		
前田 次世		
福田 智子		
	オブザーバー 佐々木佳継 (21 期)	

- ・ 上野会長・山崎理事長・南会計理事・金子事務局は、3 委員会全体に協力する。
- ・ 資料調査委員会の役割は、図書館にある資料などの調査や、着工前に校舎の記念すべき場所の撮影などに分かれるが、さし当って、撮影は有志により早急に行うこととする。
- ・ 川島康之理事は、全 3 委員会への協力を積極的に志願された。
- ・ 藤井義昭理事は、特に所属せず時間的に協力できる時にはいずれの委員会にも協力する意向。
- ・ 谷水氏は、自宅が遠方の理由もあり、理事退任を希望され承認された。(今岡理事が同期)
- ・ 欠席理事には、後日、事務局からどの委員会に所属希望かを確認する。

以上